



2008.11.4 No.8

1. イブニングセミナーのお知らせ
2. 講演内容
3. 告知
4. ご来場案内

山口市吉田 1677-1 時間学研究所

<http://www.rits.yamaguchi-u.ac.jp>

(最新の告知は上記ホームページをご覧ください)



## 1 イブニングセミナーのお知らせ

山口大学時間学研究所では、自然、人間、社会、文化にみられる時間を総合的に研究しています。このたび、下記のイブニングセミナー(計2回)に、時間学研究所のスタッフが参加いたしますので、みなさまぜひご来場ください。(ご来場案内については4ページをご覧ください)

### イブニングセミナー2008「人、健康、文化の時間」

キャンパス・イノベーションセンター1階 国際会議場(JR 田町駅前) 定員 100名 参加費無料

平成20年 12月 4日(木) 18:00~20:00

- ◆武藤正彦(山口大学大学院医学系研究科教授)「太陽の恵みと皮膚病とのかかわり」
- ◆平野 均(山口大学大学教育機構保健管理センター教授)「光療法の可能性 -リズムの改善によるメタボリックシンドロームの予防と治療-

平成21年 1月 9日(金) 18:00~20:00

- ◆森野正弘(山口大学大学院東アジア研究科准教授)「昔(むかし)という時間、古(いにしえ)という時間」
- ◆井上慎一(山口大学時間学研究所教授)「現代から未来へ -ヒトの時間をめぐって-

【講演内容の詳細は次ページをご覧ください】



## イブニングセミナー 講演内容の紹介

### 第1回 平成20年 12月 4日(木) 18:00~20:00

#### ◆武藤正彦（皮膚科学・山口大学大学院医学系研究科教授）

##### 「太陽の恵みと皮膚病とのかかわり」

人類は、遺伝学的には生まれながらにして不平等な陸上脊椎動物です。18世紀後半の産業革命の頃は、煤煙により太陽の光が地表に十分到達し得ないために、ビタミン D3 不足に伴う健康被害もみられました。ここでは、太陽の光が、個人差をもつ私たちの皮膚の健康にどのような役割を果しているのかについて、臨床皮膚科学の立場から考えてみたいと思います。

#### ◆平野 均（精神医学・山口大学大学教育機構保健管理センター教授）

##### 「光療法の可能性-リズムの改善によるメタボリックシンドロームの予防と治療-」

1日が 24 時間より長いヒト体内時計は、早朝の光によるリセットが必要です。日の出が遅くなる秋から冬にかけて、リセットが難しくなり体のリズムが遅れます。北海道では夏と比べて、冬には1時間半も遅れるそうです。体のリズムが遅れると、食欲が増して活動も低下すると考えています。冬籠もりにむけた熊と似ていますが、ヒト社会には冬にも食べ物が溢れているので、食べ過ぎて動かなければメタボになります。光療法がメタボの予防と治療にどのような効果があるのか、これまでの研究結果から説明してみようと思います。

### 第2回 平成21年 1月 9日(金) 18:00~20:00

#### ◆森野正弘（文学・山口大学大学院東アジア研究科 准教授）

##### 「昔(むかし)という時間、古(いにしへ)という時間」

日本の古語には、過去の時間を指し示すものとして、「昔(むかし)」と「古(いにしへ)」という二つの語があります。両者の違いはどこにあるのでしょうか。「古(いにしへ)」は、「往にし辺」であり、「過ぎ去ってしまった辺り」という意味を持ちます。それに対して「昔(むかし)」は、「向く」とか「向かふ」という語と関係していて、「現実世界の向こう側」というイメージを持っています。こういった違いが、平安時代に成立した『伊勢物語』という作品ではどのように組み込まれているかについて紹介したいと思います。

## ◆井上慎一（時間生物学・山口大学時間学研究所教授）

### 「現代から未来へ-ヒトの時間をめぐって-」

現代のヒトは食料を自分で取らない生物であり、大増殖している種です。さらに、怠惰で夜型でリズムが弱いとか、学力が低下しているとか、言われています。その特徴は檻の中のライオン、鶏舎の鶏、養殖されている魚に似ています。どこが似ているのかまず検証してみます。その結果、現代のヒトは飼育されている生物と共通の特徴を持っているのではないかと申し上げるつもりです。ヒトにとっては、気持ちのよくない話ですが、これはヒトの自己家畜化論といわれます。家畜化論が本当なら、私たちは、実は家畜やペットに似るために、この毎日を生懸命生きているのかもしれない。



## 時間学セミナーのお知らせ

時間学研究所では定期的に時間学セミナーを開催しております(イブニングセミナーとは別のセミナーです)。第9回・第10回の時間学セミナーを下記の日程で開催いたします。大勢の方にご参加頂き、活発な意見交換ができれば幸いです。(最新の告知につきましては時間学研究所ホームページをご覧ください)

### 第9回 時間学セミナー 「思春期の心と時間」

日時:11月26日 午後5時～7時 場所:山口大学・大学会館第1集会室

1. 辻 正二(人文学部教授:社会学)「現代の大学生の時間意識の特徴と問題点」
2. 石田成則(経済学部教授:保険学)「共分散構造分析を用いた大学生時間意識調査結果」
3. 戸ヶ里泰典(医学系研究科助教:環境保健医学専攻)「ストレス対処能力SOCの形成・発達と時間 ――生活・人生経験がもつ意味について」
4. 石川晃教(医学系研究科講師:高次神経科学)「発達期ストレスによる情動異常:「引きこもり」のモデルとなりえるか？」

### 第10回 時間学セミナー 「循環的時間／直線的時間」

日時:12月20日 午後1時～3時 場所:山口大学・大学会館(大ホール)

1. 古荘真敬(人文学部准教授:西欧哲学)「時間と感情」
2. 豊澤 一(人文学部教授:日本思想史)「『真暦考』の奇妙な時間」
3. 更科慎一(人文学部准教授:中国語学)「東アジアにおける異民族言語学習の歴史」
4. 坪郷英彦(人文学部教授:民俗学)「日記を民俗学的に分析する」



## イブニングセミナー ご来場案内

### 場所

キャンパス・イノベーションセンター1階 国際会議場(東京都港区芝浦 3-3-6)

田町駅下車 徒歩1分 / 三田駅下車 徒歩5分



### 申込方法

参加料は無料です。下記宛にFAX又はEメールにより事前にお申し込み願います。お申し込みをもって参加登録をしますので、登録確認の連絡は致しません。

定員に達した場合は、参加をお断りする場合がありますのでご了承願います。その場合は連絡致します。

### お問い合わせ

山口大学学術研究部研究推進課

TEL(083)933-5967又は933-5011

FAX(083)933-5810

E-mail : yucic-08@yamaguchi-u.ac.jp

大学URL: <http://www.yamaguchi-u.ac.jp/>

主催 : 国立大学法人山口大学